

平成 30 年 9 月吉日

東海・北陸地区
民介協 会員各位

『民間事業者の質を高める』
一般社団法人全国介護事業者協議会
理事長 佐藤 優治
東海・北陸地区理事 一同

第 13 回「全国事例発表会」開催に向けた東海・北陸地区大会の ご案内と事例募集について

拝啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は当協議会の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当協議会が毎年開催し、大きな反響を呼んでおります「事例発表会」も今回で第 13 回を迎えることとなりました。今回も、全国 8 ブロックでの地区大会開催を予定しており、当地区では平成 30 年 12 月 8 日（土）にあいおいニッセイ同和損保グローバルゲートタワーにて開催いたします。また、優秀事例については賞状を贈呈の上、平成 31 年 2 月 23 日（土）に東京で開催される「全国事例発表会」でご発表をいただく予定です。

つきましては、地区大会に向けて、「質を高める」というスローガンの下、広く事例を募集いたします。過去、応募をいただいた会員の皆様には、発表会への参加が職員の育成やケアの質の向上につながったとの高い評価をいただいております。会員各位におかれましては、日頃のケアの成果を披露する場、職員の育成につながる機会とお考えいただき、奮ってご応募をいただきますようお願い申し上げます。

敬具

※ 本紙、募集要項、申込用紙(様式①)、事例概要記入用紙(様式②)、様式②の記入例は、近日中に民介協ホームページ(<http://minkaikyo.info/>)に掲載されます。そちらからダウンロードして、お使いください。

第13回「全国事例発表会」 東海・北陸地区大会 募集要項

「民介協」では、「質を高める」をスローガンとして、会員の皆様方の実践事例を募集します。
第13回目となる今回も全国8ブロックで地区大会を行い、優秀事例を選定の上、来年2月に東京で行われる「全国事例発表会」にて発表をいただきます。
本年も介護現場において切磋琢磨されている皆様方からの多数の応募をお待ちしています。

1 事例発表会の目的

- ・ 全国の介護事業者による事例の発表を通じて、事業者間の情報交換とサービスの優秀性を追及する機会をつくり、事業者各位の職場の活性化や職員のスキル向上といった『民間事業者の質を高める』活動を推進していくことを目的とします。

2 応募資格と応募件数の上限

- ・ 応募は、当協議会会員が運営する介護事業所のスタッフであれば、どなたでも可能です。
- ・ また、下記①～⑤に該当する介護事業者においては、当協議会の非会員であっても応募をいただけます。

- ①日本介護支援専門員協会に参加する介護事業者
- ②日本生活協同組合連合会に参加する介護事業者
- ③あいおいニッセイ同和損保株式会社様とお取引のある介護事業者
- ④民介協理事や会員が役員を務める団体に参加する介護事業者
- ⑤民介協「団体会員」の介護事業者

- ・ 上記①～⑤に該当しない介護事業者からの応募については、当協議会への入会と同時であれば可とします。入会をご希望の場合は、地区大会事務局（株式会社◎◎◎◎ △△/Tel：03-XXXX-XXXX）までご連絡ください。
- ・ なお、1つの法人からの応募は、1サービス種別につき1件とさせていただきます。

3 募集テーマ

- ・ 今回は、「質を高める」というスローガンのもと、利用者本位のケア、職員採用の好事例や働きやすい職場づくり、仕事の魅力向上、地域共生、多職種連携、生産性向上などの実践事例を募集いたします。
- ・ 以下のテーマ例をご参照の上、ぜひ皆様方の法人や事業所での実践事例を積極的にご応募ください。

（テーマ例）：

【質の高い事業所運営の事例】

- ・ 職員募集の方法や求職者へのPR内容を工夫し、人材確保に成功した事例
- ・ シニア人材や外国人材の活用事例、休眠有資格者の掘り起こし事例
- ・ 働きやすい職場や風通しのよい職場づくり、研修の充実等を通じ、定着率を高めた事例
- ・ ICTの活用などを通じ、サービスの生産性を改善した事例

- ・地域の商工業事業者やNPOと連携して保険外サービスを提供、創出した事例 など

【質の高いケアを提供した事例】

- ・平成30年改正で新設された共生型サービスのモデルとなるような、子どもや障害者と高齢者がともに過ごすサービスの事例
- ・多職種と連携し、中重度者や看取り期の利用者の生活を支えた事例
- ・現場の介護職が創意工夫を通じ、要介護度の改善や重度化予防を実現した事例 など

【その他の事例】

- ・過去に事例発表会で報告した取り組みのその後の展開 など

4 応募方法

- ・民介協ホームページ掲載の「東海北陸地区事例発表会」申込用紙（様式①）および事例概要記入用紙（様式②）に所定事項をご記入の上、郵送あるいは電子メールにて各地区大会事務局に直接送付してください。

5 応募原稿の作成

- ・応募事例は、別添の【記入例】を参照の上、所定の事例概要記入用紙（様式②）を用いてエクセルまたはワード、あるいは手書きにてご作成ください。
- ・事例概要記入用紙（様式②）は、1～2枚程度を目安にご作成をお願いします。
- ・事例発表をいただく場合の持ち時間は、地区大会、全国大会ともに10分です。
- ・また、地区大会でご発表を頂く際は、別途パワーポイントで発表用スライド（表紙を含め6枚以内）をご作成いただきます。
- ・なお、応募いただいた書類の返却は一切行いませんのでご注意ください。
- ・ご不明な点、ご質問などがございましたら下記の地区事務局へお気軽にご連絡ください。

6 応募締切

平成30年11月30日（金）までに9.の申込先事務局へ送付ください（必着）。

7 地区大会発表事例の選定の流れ

①【事務局へ応募書類送付】

- ・応募書類一式について、各地区事務局へお送りください。

②【地区大会の開催】

- ・東海北陸地区大会を本年12月8日（土）に「あいおいニッセイ同和損保グローバルゲートタワービル」で開催します
- ・地区大会の発表者につきましては、発表会場までの交通費実費を支給いたします。

③【地区大会での選考と全国大会での発表】

- ・地区大会の発表事例については、当日、各地区で選定した審査員が採点を行い、最も得点の高かった事例に、平成31年2月23日（土）の全国事例発表会（於：東京都千代田区神田）でご発表をいただきます。
- ・全国大会発表者につきましては、全国大会会場までの交通費実費を支給いたします。
- ・地区大会での得点が欠点の事例につきましては、全国事例発表会の会場でパネル展示をいたします（パネル作成代は事務局負担）。

- ・採点方法および採点基準につきましては、地区大会当日にお示しいたします。

8 版 権

- ・応募事例の著作権は当協議会に帰属するものとし、優秀事例については発表者を明記の上、当協議会のホームページ等に掲載いたします。また業界紙・その他書籍等への掲載も予定しています。

9 お申込・お問合せ先

一般社団法人『民間事業者の質を高める』全国介護事業者協議会
事例発表会 東海・北陸地区大会 事務局

郵便番号：465-0025

住 所：名古屋市名東区上社2-199

法 人 名：株式会社ライフサービス

TEL:052-772-0072/FAX:052-772-0020

電子メール：ymatsu@sports-city.jp

様式①：「東海北陸地区事例発表会」申込用紙（記入例）

一般社団法人『民間事業者の質を高める』全国介護事業者協議会

応募法人について

法人名	株式会社民介介護サービス		
住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 愛知県名古屋市東名区〇〇〇-△△		
TEL (052) 703-0000	FAX (052) 703-0001		
本件に関する 問合せ窓口	ふりがな 民かい たろう ご担当者名 民介 太郎	メールアドレス：minkai@△△△.co.jp	

発表者について

ふりがな	やまだ はなこ		
氏名	山田 花子		
※複数名での発表の場合は、代表発表者名を記入ください。			
役職（訪問介護員、サービス提供責任者、デイ相談員等、管理者）	資格（ヘルパー2級、介護福祉士、ケアマネジャー等）		
管理者	介護福祉士／介護支援専門員		
事業所名 （発表者所属）	介護ステーション山海		
住所	〒927-×××× 石川県山市〇〇〇-〇〇		
TEL (0771) 83-1111	FAX (0771) 83-1112		

発表事例について

発表タイトル	ケアマネジャーとデイスタッフとの連携で認知症の快適な一人暮らしを目指す。			
サービス種別	訪問介護			
発表テーマ （該当するものに全て に〇）	1.ADLの維持・改善 2.認知症ケア 3.ターミナルケア 4.その他困難事例 5.IT' ディに基づくケア 6.多職種・地域連携 7.人材確保・定着 8.マネジメントの向上(業務効率化等) 9.その他（ ）			
事例内容（※内容を要約したものを記載してください）				
・ 認知症の進行を遅らすように、ケアマネジャーやデイサービスと連携を取り、生活環境の改善で快適な暮らしができるようになった取組。				
・				

原稿・資料を添付し、郵送あるいはメールして下さい。

様式②：「東海北陸地区事例発表会」事例概要記入用紙（記入例）

法人名	株式会社 民介介護サービス
応募者氏名	福井事業所 管理者 山田 花子
発表タイトル (様式①に記載のもの)	ケアマネジャーとデイスタッフとの連携で認知症の快適な一人暮らしを目指す。

【応募内容】：全体で A4 用紙 1～2 ページ程度に収まるように記載をお願いいたします。

取組みの背景と目的	・取組みの背景にある問題意識や取組みの目的、取組みを進める際の仮説などを簡潔にご記載ください。 【記入例】 食事がしっかり取れず、栄養不足も考えられる。一人暮らしで会話もなく、外部との交流も少ない状況で認知症が進まないよう、ケアマネジャーやデイサービスと連携し、生活改善を図った取組事例を紹介する。
具体的な取組み内容	・対象者のプロフィール、既往・現病歴、入院歴、現在の状況、ADL・IADL などをご記入ください。 ・取組みの経緯と実施内容、研究方法などを簡潔にご記載ください。 ・取組みの特徴、特に力を入れた点などを簡潔にご記入ください。 ・取組みの具体的な成果を簡潔にご記載ください。また、「成果が上がった」とお考えになられた根拠も明記をいただくようお願いいたします。 【記入例】 N 様 80 歳 女性 要介護 1 認知度Ⅱb ・週 1 回の訪問で食材の買い物、調理でサービス。 ⇒食べていない。食材も残る。⇒冷蔵庫内に期限切れの食材が増えた。 ⇒食品管理ができない。しっかりとした食事が摂れていない。 ⇒ガスコンロがつかない事、台所の動線も悪いことが判明した。 ・食材は在庫表をつけ担当ヘルパーが訪問時確認する。ケアマネジャーと相談し、調理しやすいように、台所のレンジの配置を変え、コンロの修理依頼をする。 ・デイサービスでの食事摂取量を聞く。⇒毎回ほぼ 100%摂取。昼食後、嘔吐することが多いと報告を受ける。 ・計画書の見直し。要支援 1⇒要介護 1 となり生活環境を整えるため、家事支援のサービスが変更になる。デイサービス以外の日に訪問する。 ・忘れることが多いため、大事なことはノートに記入、声かけをする。 ・精神的な不安があり、畑の会話を多くし、意欲が出るように働きかける。栄養バランスと必要なカロリーを摂取できるようにともに考え、調理していく。 ・清潔に過ごせるように生活環境を整える。
成果とまとめ	・取組み全体を振り返っての考察、残された課題と今後の展開（活動）などを簡潔にご記入ください。 【記入例】 ○取組の成果 ・流し台、コンロ台、レンジの位置を変えて共に調理ができるようになった。 ・畑に出られ、野菜の水やり、収穫もできた。その野菜を調理し、食欲も増してきた。 ・デイで嘔吐することがなくなった。 ・洗濯物干しが、声かけすることでできるようになり、清潔に過ごせるようになった。 ・ヘルパーが訪問時、ノートに書き残すことでそれを見て安心して過ごすことができています。 ・会話もなく、不安な毎日を送られていたが、畑へ出て近隣との会話も増え、ヘルパーの訪問もあり認知症予防にもつながっている。 ・

	○まとめ ・一人暮らしに不安を抱えておられるが、精神的なケアをしながら、これからもケアマネジャーとデイサービス、地域とで連携をとりながら安心して在宅生活が送れるようにサービスしていく。
参考文献	・取組にあたって参考にされた文献等がありましたら、ご記入下さい。参考文献等がない場合には、「なし」とご記入をいただければと存じます。 【記入例】 特になし

※上記以外の参考資料、添付資料につきましては、資料No.1 ○○○○、資料No.2 ○○○○・・、写真No.1 ○○○・・・・・などと記載の上、別添としてください。枚数制限はありません。

※また、枠内の説明書きは削除してご使用ください。